

腰痛疾患の有用な漢方治療



穴吹 弘毅 先生

穴吹整形外科クリニック

1994年 自治医科大学医学部卒業 大分県立病院スーパーローテート
 2001年 本匠村 因尾診療所 所長
 織部和宏先生(おりべ内科クリニック、大分市)の織部塾にて漢方を師事
 2006年 三島中央病院 整形外科 部長
 2008年 西島病院 整形外科 部長
 2009年 穴吹整形外科クリニック 院長

はじめに

日常臨床においては、難治性の腰痛で悩んでいる方が少なくない。腰痛の原因については、70%が原因不明でその多くが心因性という説もあるが、未だ解明されておらず、腰痛治療が混沌としている。

腰痛の原因がEBMだけでは理解できなくても、医師としては患者さんを痛みから解放する義務がある。漢方治療は、そのような難治性の疼痛を治す有効な治療法である。

症 例

【症例1】 腰痛・間歇性跛行(100m)

症 例：67歳 男性

主 訴：腰痛・間歇性跛行

現病歴：平成X年12月頃、寒くなってから、腰痛・下肢痛が徐々に出現。入浴すると症状は軽快した。15分以上立位がとれなくなってきた。オパルモンの投与で口唇のただれを訴え、薬物治療に抵抗した。

現 症：本症例のMRI所見と東洋医学的所見を図1に示す。舌診で水毒と瘀血所見を、腹診からも瘀血所見を認めた

経 過：「風呂に入ったら症状が軽快する」という口訣より、疎経活血湯を投与開始した。投与後、2ヵ月にて1km歩行可能になった。腰痛はVASで10/80と著明に改善した。

考 察：間歇性跛行には疎経活血湯がファーストチョイスとなる。使用のポイント：口訣を表に示す。

一方、牛車腎気丸では間歇性跛行の改善は弱い

図1：MRI所見と東洋医学的所見



第4/5椎間：重度の狭窄症

東洋医学的所見

舌候：歯痕、周囲が紫赤色
 脈候：浮沈中間
 腹候：瘀血所見あり



歯痕・瘀血所見

表：疎経活血湯

効 能	祛風湿，補血活血 冷え症や筋肉，関節，神経の痛みを緩和する。
使用ポイント 口訣	風呂に入ったら症状が軽快する カイロで腰を温めたらよい 下肢(足)が非常に冷える

が、下肢のしびれ・非特異的愁訴にはよい改善効果を示す。

【症例2】 難治性の慢性腰痛症

症 例：63歳 女性

主 訴：腰痛

現病歴：26歳のときに台風で飛ばされて腰部を痛めてから長年腰痛に悩まされていた。

平成X年1月頃から特に誘因なく腰痛が悪化して

きた。朝起きるときが最も悪く、夜は右側臥位でしか眠れなかった。椅座位から立つときにも痛みがあり腰を伸ばせなかった。

現 症：整形外科的所見として、L5/S1右傍脊柱筋の圧痛を認めたが、神経学的所見はKemp徴候（－）であった。画像所見では、X線像で脊柱、椎間関節変性と陳旧性の圧迫骨折を認めたが、MRI所見では神経圧迫所見は一切認めなかった（図2）。東洋医学的所見を図3に示す。

図2：画像所見

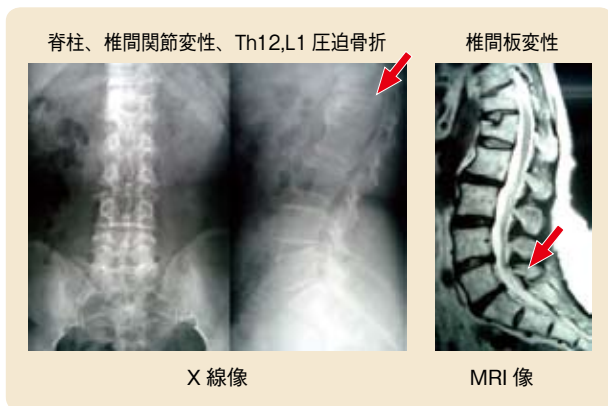
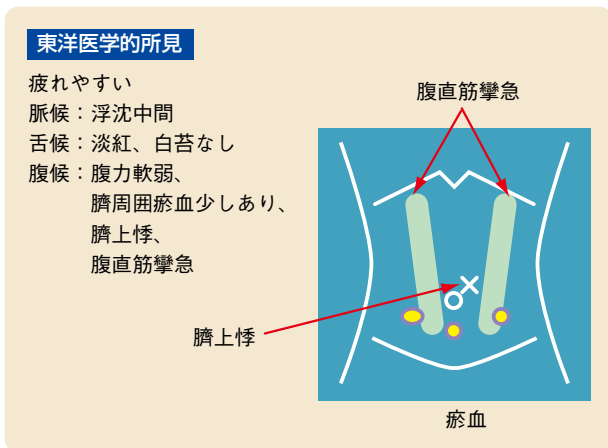


図3：東洋医学的所見



経 過：あらゆる整形外科的保存治療に抵抗した。7月X日より苓姜朮甘湯 2包/日投与開始。投与後わずか1週間で夜間寝返りが楽になり、37年ぶりに仰臥位に寝ることが出来るようになった。朝起きるときの腰痛も著明に改善。腰痛はVASで10/70となった。自宅から300mのお寺に数年ぶりに行けるようになり喜ばれた。

考 察：苓姜朮甘湯は3ヵ月以上続く慢性腰痛や神経性疼痛もない慢性腰痛に効果的である。過去の報告によれば、冷えや頻尿を伴う場合に効果的とされているが、神経性疼痛がない慢性腰痛症に対して

はそれらの症状がなくても効果的である。

まとめ

漢方治療を行うにあたって、西洋医学を詳細に理解しておく必要があることは言うまでもない。西洋医学的治療でも、同じ疾患すべてが、同じ薬では治らない。つまり西洋医学には限界がある。漢方には、異病同治・同病異治という言葉がある。患者さんの異常を察知するために「気・血・水」の概念を利用し、同じ疾患でも様々な漢方処方を用いる。疼痛漢方治療の原則は、「不通則痛・通則不痛：通じざれば痛み、通じれば痛まず」である。この世の難治性の疼痛疾患に対して、漢方は患者さんにとって希望の光（生きる力）を与えることができる。

C o m m e n t s

後山：まさに「漢方が患者さんに希望の光を与える」ことが出来た症例です。とくに症例2のように37年ぶりに仰臥位で寝ることが出来たというのは、峯先生、一体、からだの中で何が起きているのでしょうか。

峯：西洋医学的にはもちろん、漢方医学的にも解釈は難しいですね。しかし漢方医学的には、もともと強い冷えがあり、それが長く続くことで水滯がひどくなり、それが何か生体に邪魔をしており、苓姜朮甘湯が作用したと考えざるを得ません。

後山：苓姜朮甘湯が効果を発揮するのであれば、レーザー光線などで深部温度を高めても効果があるのではという気もしますがいかがでしょうか。

穴吹：確かにレーザー光線でも一時的にはよくなるかも知れませんが、効果の持続は期待できません。

峯：苓姜朮甘湯は、甘草、乾姜を含んでいますので、肺脾腎を温めることで全身の水の流れを改善しますので、西洋医学とはまったく異なる効果が期待できるのではないのでしょうか。

後山：従来の治療とは発想を変えることで、患者さんのADLが見事に改善することを示していただいた症例でした。